

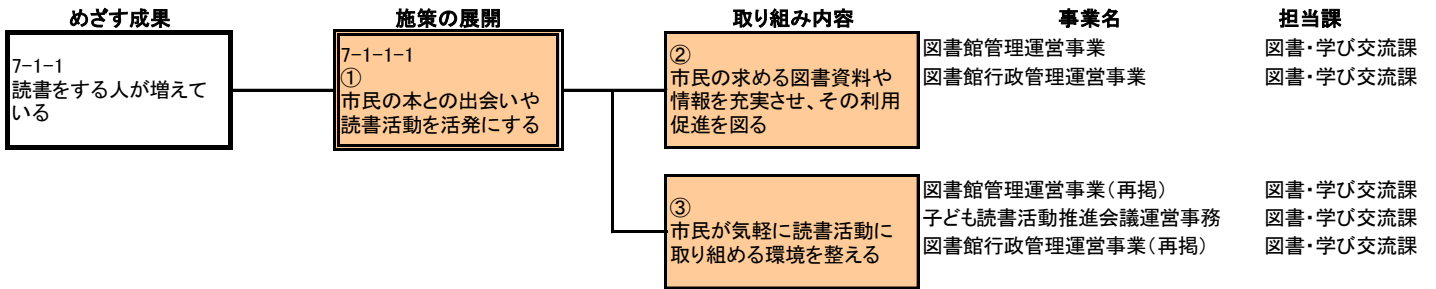
施策評価（一次評価）

個別目標 7 - 1

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7-1	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する
めざす成果	7-1-1	読書をする人が増えている
	7-1-2	学びに関わる人が増えている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

総事業費 (予算)	H31(R1) 565,733	R2 587,183	R3 591,280	R4 595,063
--------------	--------------------	---------------	---------------	---------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 市内図書館の年間来館者数	3,053,751人	4,002,361人	1,922,640人	3,010,193人	4,094,700人	4,177,000人
② 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	5.39冊	5.51冊	4.38冊	5.84冊	5.68冊	5.85冊
③ 図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数	3,103人	3,568人	1,470人	2,392人	3,310人	3,420人

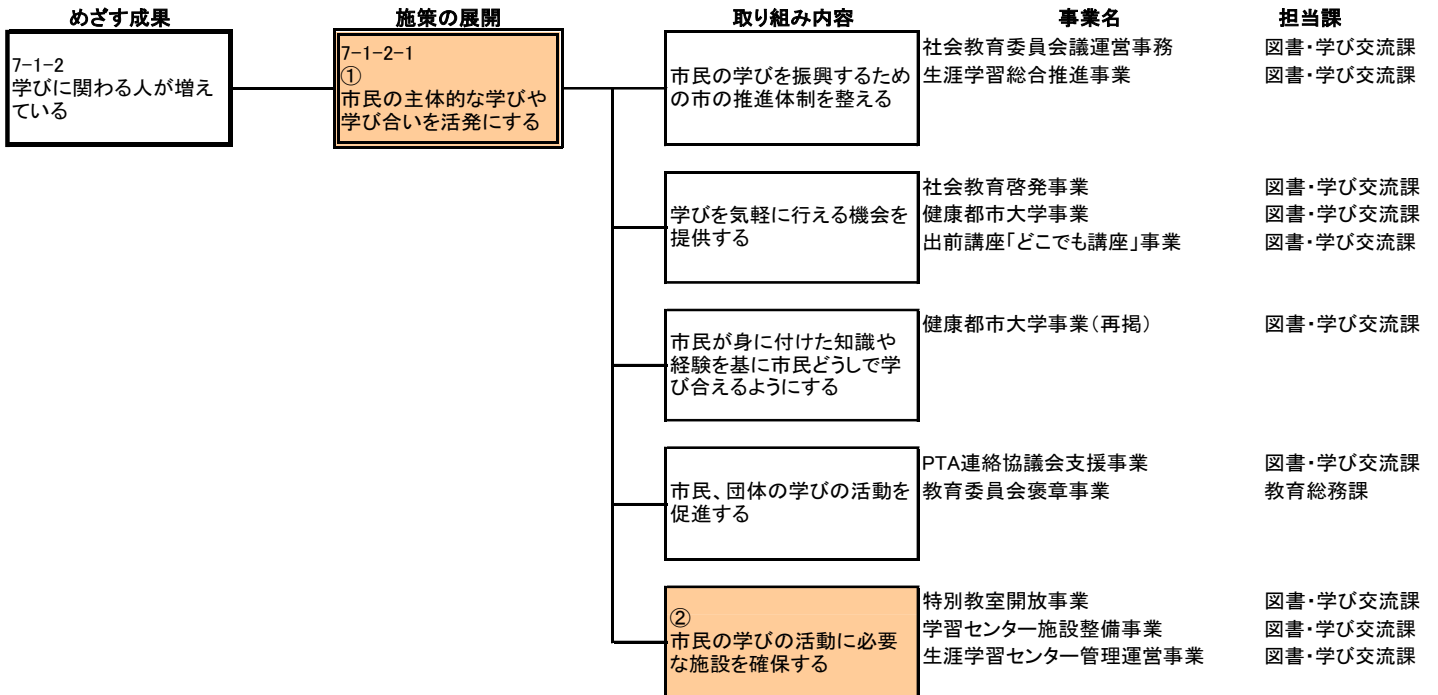
これまでの成果	<p>【市民の本との出会いや読書活動を活発にする】</p> <p>■指定管理制度の活用により、民間のノウハウを活かした図書館運営を行うと共に、図書館運営に必要な図書館システム等のインフラ整備を行いました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、初めて長期に渡る休館期間が生じたことから、令和元年度に400万人を越えていた図書館3館の来館者数は、令和2年度は減少に転じました。令和3年度は、感染予防対策を徹底しながら開館し、来館者数は回復傾向にあります。</p> <p>■図書除菌機の増台等による図書館内の新型コロナウイルス感染防止対策を進め、安心して読書活動に取り組める環境を整えたことや、おうち時間の増加に伴う読書ニーズの増加により、図書館の来館者数は減少しながらも、令和3年度の市民1人あたりの年間図書貸出冊数は新型コロナウイルスの流行前よりも増加しました。</p> <p>■鉄道駅やショッピングモールなどへの図書返却ポストの増設を進め、市内の返却ポストは17箇所となりました。利用者の利便性が向上したことで、市民が気軽に読書活動に取り組める環境整備を進めることができました。</p> <p>■中央林間図書館の増床を行い(オープン時767.74㎡→R4.3.1より834.02㎡)、市民ニーズの高かった閲覧席を増席し、市民の利便性の向上に寄与しました。</p> <p>■令和3年度からは、指定管理者の更新により、市内すべての図書施設を一括で管理運営を行う体制を整え、一体運営のさらなる充実を推し進めることができました。</p>
---------	---

成果に対する評価と課題	<p>【市民の本との出会いや読書活動を活発にする】</p> <p>■新型コロナウイルスの影響により、多くの市民が外出を控える中でもアクリルパーティションの設置等による感染防止対策を進めた結果、来館者数の減少をピーク時の75%程度に抑えることに繋がったと考えています。また、慢性的に閲覧席が不足していた中央林間図書館のフロアを拡充し、閲覧席を増席したことで、より多くの利用者が館内で読書することが可能になったと考えます。今後も、感染防止対策を万全にしながら、多くの市民の本との出会いの場となるべく、新しい生活様式に則した運営を進めていく必要があります。</p> <p>■新型コロナウイルス感染拡大による開館時間の短縮や、来館者数減の影響がありながら、市民一人あたりの年間図書貸出冊数は伸長していることから、コロナ禍により市民の行動や生活様式に変化が生じた結果と考えます。今後は電子図書館の拡充を含め、変動するニーズに応えられる運営を進めていく必要があります。</p> <p>■おはなし会の延べ参加者数については、新型コロナウイルスの影響により減少し、目標値に届かない結果となりましたが、令和2年度と比較し、令和3年度は回復傾向にあります。引き続き感染症対策を整え、安心して参加してもらえるよう取り組んでいく必要があります。</p>
-------------	---

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	7	豊かな心と感動が広がるまち
個別目標	7-1	読書と学びにいつでも親しめる環境を充実する
めざす成果	7-1-1	読書をする人が増えている
	7-1-2	学びに関わる人が増えている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

総事業費 (予算)	H31(R1) 426,911	R2 450,547	R3 566,391	R4 729,170
--------------	--------------------	---------------	---------------	---------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 市民一人あたりの学習センター来館数	4,74回	8,64回	2,28回	5,72回	6,17回	6,42回
② 講座等の受講者数	12,523人	9,399人	3,236人	5,442人	13,400人	13,900人

これまでの成果	<p>【市民の主体的な学びや学び合いを活発にする】</p> <p>■健康都市やまとMANABI計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）に基づき、市民の自主的な学習を促すとともに、より多くの市民が学びに係る活動を行えるよう、どこでも講座事業、市立小中学校の特別教室開放事業、生涯学習センター管理運営事業、健康都市大学事業等を実施しました。</p> <p>■指定管理者による学習センターでの講座開催など、市民の学習意欲に応じて様々な学習の場を提供してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公共施設の長期休館期間が生じたことから、成果を計る主な指標の令和2年度実績は、いずれも減少に転じました。</p> <p>■令和3年度は、徹底した感染対策を実施したことで、1年を通して市民へ学習機会を提供でき、ふたたび市民の学びの活発化に寄与できました。</p>

成果に対する評価と課題	<p>【市民の主体的な学びや学び合いを活発にする】</p> <p>■新型コロナの予防対策を全施設で徹底し、「安心して学習できる場」づくりに継続的に取り組んできたことが、市民一人あたりの学習センター来館数の回復に繋がったと考えます。</p> <p>■また、講座等の受講者数は、会議室の定員制限やワクチン接種会場利用に伴う講座の中止等もあり、中間目標値を大きく下回りましたが、従来の対面によるものに加え、オンライン等を活用するなど、コロナ禍でもできることを考え、実践してきました。</p> <p>■その結果、講座実施後に行うアンケートにおいては受講者の98%から「満足」または「非常に満足」との評価をいただくことができました。</p> <p>■コロナ禍においても、市民の継続的な学習機会が確保できるよう、デジタルディバイドの解消を目的とした取組を進めるとともに、従来の対面による講座にとらわれない様々な提供方法を指定管理者とともに検討していく必要があります。</p> <p>■さらに、「健康都市大学 月イチ学園祭」などの気軽に学ぶことのできる機会を増やしながら、学習の場の周知向上を目指した情報発信の拡大を図るなど、より多くの市民が気軽に学ぶ楽しさに触れ、その学びが継続されるよう努めていきます。</p>

めざす成果		7-1-1 読書をする人が増えている			
主要な 事業 内容	事務事業名	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額
		法令等の義務	実施手法	財源構成	
	事務事業の目的				
	図書館管理運営事業	561,929	581,692	604,626	595,020
	有	直営・指定管理	国・他・一財		
図書館の円滑な管理運営を行います。					

めざす成果		7-1-2 学びに関わる人が増えている			
主要な 事業 内容	事務事業名	R1決算額	R2決算額	R3決算額	R4予算額
		法令等の義務	実施手法	財源構成	
	事務事業の目的				
	健康都市大学事業	4,436	4,052	3,726	6,144
	有	直営・指定管理	一財		
学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民どうしの繋がりの創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。					
	生涯学習センター管理運営事業	394,494	408,020	328,882	326,697
	有	直営・指定管理	他・一財		
生涯学習センターの円滑な管理運営を行います。					

【注釈】 <法令等の義務> 法律または政省令による事業実施根拠の有無
 <実施手法> 直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
 <財源構成> 一財：一般財源 国：国庫補助金等 県：県費補助金等 市：市債 他：その他特定財源

成果を計る主な指標の計算式等及び目標値の設定理由

めざす成果	成果を計る主な指標	計算式等	目標値の設定理由
7-1-1 読書をする人が増えている	市内図書館の年間来館者数	図書館の年間来館者数	市内の図書館全体の来館者数を現状値（中央林間図書館及び渋谷図書館は2018年度の想定来館者数）から毎年度1%伸ばす最終目標値を設定した。
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	貸出冊数／総人口	大和市立図書館の来館者数の伸び等を考慮したうえで、年間図書貸出冊数を最終的に現状値から10%伸ばすことを目指し、最終目標値を設定した。（中間目標値は5%の伸びとして設定）
	図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数	図書館が実施したおはなし会の参加者数の合計	大和市立図書館の来館者数の伸び等を考慮し、図書館が実施する各種おはなし会の参加者数を最終的に現状値から10%伸ばすことを目指し、最終目標値を設定した。
7-1-2 学びに関わる人が増えている	市民一人あたりの学習センター年間来館回数	学習センター来館者数／総人口	生涯学習のための取り組みを推進し、毎年1%ずつ増加させることを目標とした。
	講座等の受講者数	生涯学習講座等の年間の延べ受講者数	生涯学習のための取り組みを推進し、毎年2%ずつ増加させることを目標とした。